

## 調査・プロジェクト

### (1) 学術調査

- 1 「韓国における昆虫食慣行に関する研究」 (私費)  
韓国各地 (1987年8月)
- 2 「中国, 雲南省における内陸食用動物に関する研究」 (私費)  
中国, 雲南省 (1989年2月)
- 3 「韓国における昆虫食慣行に関する研究」 (私費)  
韓国, 南部各地および済州島 (1990年12月)
- 4 「イギリス農村計画の実態」 (私費)  
連合王国, 各地 (1992年8~9月)
- 5 「変容するカラハリ狩猟採集民サンの生態と社会に関する人類学的研究」  
科学研究費国際学術研究(研究分担) ボツワナ (1993~1995年度)
- 6 「東南アジアの海域世界における環境利用とその現代的変容の研究」  
科学研究費国際学術研究(研究分担) インドネシア (1994~1996年度)
- 7 「東南アジア大陸部における農業の変貌」 石田財団研究助成(研究代表)  
タイ・ラオス (1995~1996年度)
- 8 「カラハリ砂漠とその植生移行帯における民族多様性に関する生態人類学的研究」  
科学研究費国際学術研究(研究分担) ボツワナ (1996~1997年度)
- 9 「タイ北部における農産物および自然産物の市場流通に関する研究」 (私費)  
タイ (1997年10月)
- 10 「東南アジアの湿地帯における資源と経済-開発と保全の生態史的研究-」  
科学研究費基盤研究(研究分担) タイ、マレーシア、ベトナム (1998~2001年度)
- 11 「メコン河集水域における自然と文化の相互関係にかんする生態史的総合研究」  
科学研究費基盤研究(研究分担) ラオス、中国 (1999~2001年度)
- 12 「南アフリカにおける民族昆虫学ならびに博物館展示替えプロジェクト」  
南アフリカ・トランスバール自然史博物館における共同調査研究 (1999~2000年)
- 13 「ツワイン・エコミュージアム活動」  
南アフリカ・トランスバール自然史博物館における共同実践 (1999~2000年)
- 14 「東・南シナ海の沿岸域における水産資源の利用とそれをめぐる民族ネットワークの研究」 科学研究費基盤研究(研究分担) ベトナム、ラオス (2001~2003年度)
- 15 「南部アフリカにおける昆虫利用の文化地理学的研究」 科学研究費奨励研究  
南アフリカ、ナミビア、ボツワナ、ジンバブエ、ザンビア (2001~2002年度)
- 17 「アジア・熱帯モンスーン地域における地域生態史モデルの構築」  
ラオス・タイ 総合地球環境学研究所プロジェクト (2002~2007年度)
- 18 「アイルランド、ウェールズ地方における野生環境資源の利用」 科学研究費(研究分担)  
アイルランド、ウェールズ (2004年8月)
- 19 「アイスランドにおける沿岸・河口資源の利用」 科学研究費(研究分担) アイスランド  
ド (2006年6月)
- 20 「猿害対策にむけたGISと地域社会形成に関する研究」 福武学術文化振興財団助成  
研究 日本、タイ (2005年~2006年度)

- 21 「沿岸河口域における持続的な水産資源利用モデルの構築とアジアへの適用に関する研究」科学研究費基盤研究 B (代表) ベトナム、韓国、中国、日本 (2006 年 4 月～2010 年 3 月)
- 22 「東南アジア平原地帯における複合的な資源利用とその持続的発展に関する研究」科学研究費基盤研究 A (分担) タイ、ラオス (2006 年 4 月～2010 年 3 月)
- 23 「文化環境学の構築に向けた人間－環境関係の図示表現手法の開発」立教大学 SFR 研究 (2007 年度)
- 24 「イラストマップによる地域情報地図の作製手法の研究」国土地理協会研究助成 (2007 年度)
- 25 「ラオスから発信する自然資源食料利用とその未来可能性」トヨタ財団研究助成 (代表) ラオス (2007～2008 年度)
- 26 「海外フィールドワークにおける地理学知の還元モデルの構築に関する研究」科学研究費基盤研究 B (代表) ラオス、パプアニューギニア (2008 年 4 月～2011 年 3 月)
- 27 「微量元素からとらえる環境利用と文化的適応の地理学的研究」科学研究費基盤研究 A (代表) ラオス (2010 年 4 月～2013 年 3 月)
- 28 「熱帯の産米林農業に在来する生物の機能を活用した農業生産と資源利用との調和」科学研究費基盤研究 A (分担) タイ、ラオス他 (2010 年 4 月～2013 年 3 月)
- 29 「生物地理学的視点からみた西太平洋島嶼地域の干潟文化の比較研究」科学研究費基盤研究 B (分担) (2011 年 4 月～2014 年 3 月)
- 30 「生物による地域資源形成への地理学的貢献」科学研究費挑戦的萌芽研究 日本、フランス他 (2011 年 4 月～2013 年 3 月) (代表)
- 31 「場所に根ざす知」の共同構築を通じたフィールドワークの知的還元の実践——パプアニューギニア、クラインビット村」福武学術文化振興財団助成 パプアニューギニア (2012 年 4 月～2013 年 3 月) (分担)
- 32 「住民の微量元素獲得から見た土地利用と環境適応の統合的研究」科学研究費基盤研究(B) (特設研究) (2014 年 7 月～2017 年 3 月)
- 33 「シロアリを利用した持続的土地・資源利用の環境地理学的研究」科学研究費基盤研究(B) (2015 年 4 月～2018 年 3 月)

(2) その他の研究プロジェクト

- 1 国立民族学博物館共同研究員 (1995 年 4 月～2002 年, 2004 年 4 月～2005 年 3 月)
- 2 「風土精神文化を生かした地域創造研究」三重県高等教育機関連絡会議 (研究分担) (1997 年 4 月～1999 年 3 月)
- 3 「伊勢湾地域の総合的利用と保全」三重県高等教育機関連絡会議 (研究分担) (2001 年 4 月～2002 年 3 月)
- 4 「三重県における工業化社会・自然環境の総合環境学的研究」三重大学 (研究分担) (2001 年 9 月～2002 年 3 月)
- 5 「Cultural and Medicinal uses of insects」National Research Foundation in SA (研究分担) 南アフリカ (2002 年 1 月～2003 年 12 月)
- 6 「生命系における共生と多様性」総合研究大学院大学共同研究 (2002～2004 年度)

- 7 「超域文化学専攻におけるフィールドワーク教育の体系化 - 危機管理とアシスト体制づくり-」 (立教大学 GP 研究・代表) (2009年4月～2011年3月)
- 8 「東日本大震災による住民の食用野生生物利用への影響とその食文化を守るための研究」 (立教大学 SFR 研究 (2011年7月～2013年3月))
- 7 「旧小川原湖民俗博物館資料と宮本馨太郎より探る立教大学が民俗学に果たした役割」立教大学人文研究センター共同研究プロジェクト(代表) (2016年4月～2017年3月)
- 8 「宮本馨太郎が主導した民具学の学史的検討とその地域博物館および民俗学への影響」立教大学人文研究センター共同研究プロジェクト(代表) (2017年4月～2018年3月)
- 9 「民族昆虫学の国際協働研究に向けた研究動向と課題の整理およびネットワーク形成」(フランス国立自然史博物館) 立教大学国際学術研究交流制度 (個人) (2017年1月)
- 10 「日本から学ぶ南アフリカの教員の専門性向上のための有用昆虫利用の在来知識活用  
の研究」二国間共同研究事業 (2018年5月～2019年3月) (南アフリカ・ノースウェスト大学と)